

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公表番号】特表 2016-529232 (P2016-529232A)

【公表日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報 2016-056

【出願番号】特願 2016-526507 (P2016-526507)

【国際特許分類】

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/52 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 K 47/50 (2017.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/00

C 0 7 K 14/52

A 6 1 K 37/66 F

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/42

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インターフェロンアンタゴニストと、標的部分とを含む融合タンパク質を含む組成物であって、

前記インターフェロンアンタゴニストは、R 1 2 0 E 変異を含むヒト I F N 2 であり

、

前記標的部分は、拮抗的活性の細胞特異的標的化を提供する抗体または抗体様分子からなる、組成物。

【請求項 2】

前記標的部分は、ラクダ重鎖抗体の可変ドメイン (V H H) を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記標的部分は、癌細胞のマーカーを特異的に標的とする、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記標的部分は、免疫細胞のマーカーを特異的に標的とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか

1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記標的部分は、レプチン受容体の特異的に標的とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記標的部分は、CD20 を特異的に標的とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記ヒト IFN 2 は、インターフェロンアゴニストの結合活性を低下させる第二の変異を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記第二の変異は、R149A および L153A のいずれかである、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

サイトカインアンタゴニストと標的部分を含む融合タンパク質を含む組成物であって、前記サイトカインアンタゴニストは、R120E および L153A 変異のヒト IFN

2 を含む、

前記標的部分は、CD20 に特異的に標的化されたラクダ重鎖抗体の可変ドメイン（VHH）を含む、組成物。

【請求項 10】

自己免疫疾患の治療に使用するための、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記インターフェロンアンタゴニストと前記標的部分を連結するためのリンカーをさらに含む、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。